

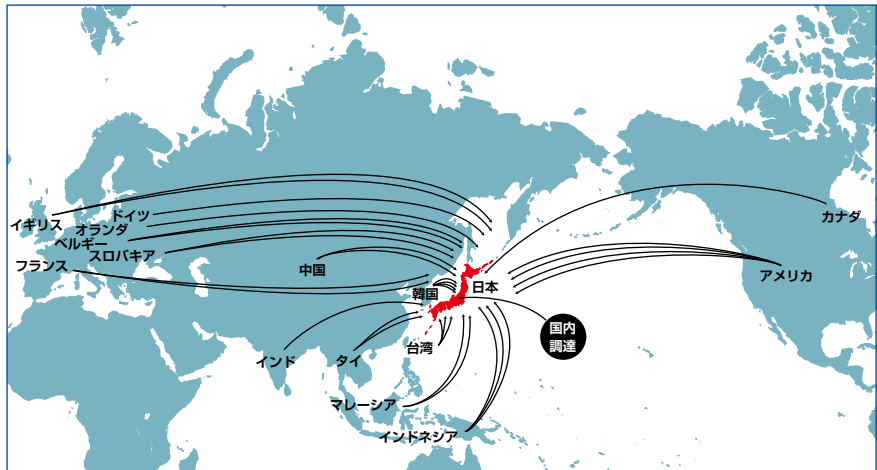
# 取引先と共に

平等、公平を基本に、信頼、尊敬に基づいた相互理解の関係を作り上げていきます

## 世界各地から5,000種類以上を調達

横浜ゴムの調達は、天然ゴム、合成ゴム、カーボンブラックなどの原材料、繊維やスチールなどの補強材、設備や資材、用品など、品目数で5,000種類以上にのぼります。また取引先の相手国も、国内はもちろん、アジア、北米、欧州などおよそ20カ国に達しています。これらの調達活動は主に購買部が担当しており、技術的な問い合わせや相談は、事業部や生産事業所が個別に行う場合もありますが、最終的な契約関係は購買部が行っています。

### グローバルに広がる調達先



この地図は、主にタイヤに使用される原材料の主要調達先国を記したものです。ゴム材料、配合剤、スチール・繊維などの補強材などに関し、世界各地で調達活動を行っています。

## 信頼、尊敬に基づいた相互理解を築く

多くの取引先の支援なくして、横浜ゴムのグローバルな成長は不可能です。このため信頼しうる取引先との長期・安定的な関係の構築を目指しています。その際重要なことは、信頼、尊敬に基づく相互理解です。相手を信頼し、相手

からも信頼される関係を築き上げてこそ、困難に直面して互いに助け合える、長続きする関係が生まれます。取引における「平等、公平」は、信頼関係の基本と考えています。

## CSR遂行に向けた取引先への要請

横浜ゴムは従来から取引先の皆さまに環境経営を要請し、その基準となる「グリーン調達ガイドライン」を作成・配布して、環境マネジメントシステムの導入、禁止・制限物質などの非含有証明などを要請してきました(P19「グリーン調達・グリーン購買の強化と徹底」参照)。今後はよりCSRを強化するため、法令・社会規範の順守、人権・労働安全衛生などについてもガイドラインの策定を検討しています。

### 取引の透明性が高い電子調達も活用

横浜ゴムは2001年から電子調達システム「ラバーネットワーク」に参加しています。インターネットを利用して「共同購入」「オークション」で調達することでコストダウンを図ることが目的です。電子取引はグローバルで公開されるため、取引の透明性が高いのが特徴です。梱包材やパレット、電気部品、空調設備、事務用品など、幅広い品目で利用しています。



ラバーネットワークのサイト画面